

玄馬院長(右端)の講演に耳を傾ける生徒



福山・尾三

がんの知識 医師から学ぶ

福山の幸千中 喫煙のリスクも

福山市御幸町の幸千中で5日、がんの基本的な知識を学ぶ講演会があった。2年生216人が喫煙のリスクや生活習慣の改善の大切さについて、理解を深めた。

中国中央病院(同町)の玄馬顕一院長(62)が登壇。日本人の死因はがんが最も多く、3割を占める現状を解説し、早めの検診の重要性を訴えた。喫煙によって、肺をはじめ、食道、胃など、さまざまながんの発生リスクが高まると指摘。「大人になっていく上で禁煙や

食生活、運動の実践などの生活習慣に注意してほしい」と呼びかけた。

同校は2017年から毎年、同病院の医師を招き、がん教育の講演会を開いている。内山琴心さん(13)は「誰でもなり得る病気と分かった。学んだことを家族や周りの人にも伝えたい」と話していた。

(江川裕介)



眠っているピアノを、次の子ども達へ！
買取キャンペーン中
(株)ハルナ楽器 福山・東深津
084(0)23-0055